

岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 東広島本郷忠海線 交通安全施設事業に伴う測量設計
業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 河川 橋梁・高架

ボーリング名	R3-B-4	調査位置	広島県東広島市高屋町高屋東 萩原川右岸側	北緯	34° 26' 51.5229"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所		調査期間	令和3年11月 1日～ 令和3年11月 4日	
調査業者名	主任技師		現代理人	コアア	ボーリング
孔口標高	TP 198.22m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	度	0°	向	0° 水平 0° 鉛 90°
使用試験機	東邦D0型		エンジン	ヤンマーNFD80型	
ポンプ	東邦BG-3C型				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) RQD [%]	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験					原位置試験	室内試験	削孔状況	排水量 (L/min)	
														N値	深さ	打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量					削孔速度 (mm/h)
1	195.72	2.50	粘土質砂	暗褐							0 [0] (100)	細砂主体の表土。植物根を混入する。	11/4 1.65	1.25	2	400	1.25	2	66	0	0	0	0
2	194.22	4.00	シルト質砂	暗灰							0 [0] (100)	砂分を主体とする河川性堆積物。		1.65	2	350	1.65	2	67	0	0	0	0
3	193.22	5.00	強風化花崗岩	暗褐 褐灰	w5	h4			E	V	d	D	砂状～礫状コアを呈する全体に軟質な粗粒花崗岩。D1感を呈する。長石は指圧で粉砕できる。GL-4.00～5.00は風化により軟質で岩組織が不明瞭。		2.94	22	300	2.94	22	66	70	200	70
4	192.22	6.00	強風化花崗岩	暗褐 褐灰	w4						0 [0] (100)	砂状～礫状コアを呈する全体に軟質な粗粒花崗岩。砂状～礫状コアを呈する全体に軟質な粗粒花崗岩。GL-5.00～6.00は岩組織が明瞭。礫状～短棒状コアを呈する粗粒花崗岩。		3.43	25	300	3.43	25	66	100	150	100	11
5	189.22	9.00	風化花崗岩	茶褐	w3	h3			D	IV	c	D	局所的に硬質となるが、多くの深度でコアは指圧破砕できる。GL-6.7～7.0mは風化が強く礫状コアを呈する。		4.14	25	300	4.14	25	66	100	150	120
6											0 [0] (100)			5.15	46	300	5.15	46	66	100	150	120	
7											0 [0] (100)			5.48	50	180	5.48	50	66	100	150	120	
8											0 [0] (100)			6.05	50	180	6.05	50	66	100	150	120	
9											0 [0] (100)			6.23	180		6.23	180	66	100	150	120	
10														7.00	貫入不能		7.00	貫入不能	66	100	150	120	
11														8.00	50	150	8.00	50	66	100	150	120	
12														8.13	150		8.13	150	66	100	150	120	
13														9.00	50	120	9.00	50	66	100	150	120	
14														9.12	120		9.12	120	66	100	150	120	